



学校だより

令和7年度 11月号
令和7年 11月4日
さいたま市立大谷口中学校

〔学校教育目標〕 かしこく 美しく たくましく

思いを響と唱に込めて 心をつなぐ

校長 高村 昌利

校庭の木々が赤や黄色に色づき、地域の街並みも秋の彩りに包まれる季節となりました。紅葉が見頃を迎える一方で、朝晩の冷え込みが日に日に増し、冬の気配が少しずつ感じられるようになってきました。皆さまにおかれましては、体調管理に十分ご留意いただき、健やかに過ごしてくださいようお願い申し上げます。さて、10月は本校にとって、まさに行事の秋と呼ぶにふさわしい、充実した1か月となりました。生徒たちは、さまざまな場面で仲間とともに挑戦し、互いに支え合いながら、心身ともに大きく成長する姿を見せてくれました。ここでは、その中から2つ、印象的な出来事をご紹介します。

まず一つ目は、10月21日（火）に開催された「令和7年度 第25回 さいたま市中学校駅伝競走大会」です。本校の「大谷口中駅伝部」は、女子が第2位、男子は第3位という素晴らしい成績を収めました。さいたま市内の公立・私立合わせて63チームが参加する中での快挙であり、日々の練習の積み重ねと、仲間との絆の強さが見事に発揮された結果でした。会場となった荒川総合運動公園の特設コースでは、選手たちが懸命に響をつなぎ、心をつないで走る姿が印象的でした。沿道の最前列から「がんばれ！大谷口！」「大谷口！ファイト！」「最後までがんばれ！」と声援を送った私の声が、生徒たちに届いていたかは定かではありませんが、最後の直線で力を振り絞る姿に、思わず涙がこぼれました。生徒たちのひたむきな姿勢と根性に、心から拍手を送ります。大谷口中学校のために、最後まで全力で走り切ってくれたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

次にご紹介するのは、10月23日（木）に埼玉会館大ホールで開催された本校、「第51回 合唱コンクール」です。当日は学校運営協議会委員の皆さま、多くの地域の方々にご来場いただきました。そして、保護者の皆さまにはPTA活動の一環として、ボランティアにご協力いただきました。平日にもかかわらず、多くの保護者の皆さまに足を運んでいただき、誠にありがとうございました。生徒たちが一生懸命に歌う姿に、胸を打たれた方も多かったのではないのでしょうか。合唱は、みんなで一つの作品を作り上げる活動です。一人ひとりの声が重なり合い、心をひとつにして響かせる歌声は、まさに魂のこもった感動そのものでした。練習を通して育まれた協力と絆は、これからの学校生活にも大きな力となることでしょう。

新人体育大会、県大会、駅伝競走大会、合唱コンクールなど、10月は生徒たちにとって貴重な経験の連続でした。「感動」「悔しさ」「歓喜」など、さまざまな感情を味わうことができたこの1か月は、まさに心を育てる時間だったと感じています。人生において「体験」や「経験」は、子どもたちの心を育み、将来の大人へと成長していくための大切な糧となります。改めてそのことを実感する機会となりました。

11月は、学びを深める季節です。また、今年度も「心を潤す4つの言葉」推進週間を設け、生徒会の生徒を中心に全校で積極的に気持ちのよいあいさつや返事ができるよう取り組んでまいります。ご家庭や地域の皆さまにもご協力をお願い申し上げます。引き続き、日々の授業を大切にしながら、さらに一歩成長できるようこれからも生徒と教職員が一丸となって取り組んでまいります。なお、「大谷口中駅伝部」は、11月8日（土）に熊谷スポーツ文化公園陸上競技場で開催される「第93回埼玉県駅伝競走大会」に、男女共にさいたま市代表として出場いたします。地域の皆さま、保護者の皆さまにおかれましては、引き続き温かいご声援を賜りますようお願い申し上げます。今後とも、大谷口中学校の教育活動に、変わらぬご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。